



最近、ホッと一息、ついていますか？



新年度が始まりました。みなさん、いかがお過ごしですか？

1年生のみなさんは、新しい生活にわくわく・ときどきしているでしょうか？それとも戸惑いや不安の方が大きいでしょうか？

4年生のみなさんは、いよいよ就職活動も本格的に始まり、忙しくしている人も多いと思います。焦りやプレッシャー、漠然とした不安など、辛い思いをしている人もいるのではないのでしょうか。たまには息抜きや気分転換をすることも大切です。また辛い時には誰かに話を聞いてもらうことで少し心がスッキリすることもあります。家族や友達と話したり、あるいは学生相談室もぜひ利用してくださいね。

～SOGIという言葉、知ってますか？～

みなさんは、“SOGI(ソジ)”という言葉を知っていますか？

性的マイノリティの人々を表す言葉として、LGBT があります。これは、L(レズビアン)、G(ゲイ)、B(バイセクシュアル)、T(トランスジェンダー)を示しています。また近年では、これ以外のセクシュアリティを追加する形で、LGBTQ や LGBTQIA+といった言葉も現れてきています。ちなみに、Q はクエスチョニングやクィア、I はインターセックス、A はアセクシュアルを表し、+が意味するのは、そのどれにも当てはまらないセクシュアリティがあることを示しています。このように、セクシュアリティは実に多様で、ある性的指向や性自認に関してカテゴライズしようとすると、そこに当てはまらない人たちの存在がこぼれ落ちてしまう、といったことが起こってきてしまいます。

そこで一般的になってきたのが、“SOGI”という言葉です。“SOGI”とは、Sexual Orientation(性的指向)と Gender Identity(性自認)を組み合わせた言葉です。また Gender Expression(性表現)という言葉も加えて、“SOGIE”という言い方をすることもあります。つまり誰を(どの性別の人を)好きになるか、自分の性についてどのように認識しているか、そしてどのように自分の性を表現するか、といった内容を包括する、全ての人を対象とした概念になります。

もしかしたらみなさんは、性的マイノリティの問題とか、自分には関係ないし、と思っているかもしれませんね。けれど、大学生のみなさんにとって、セクシュアリティの問題は意外と身近なものではないでしょうか。誰を好きになるか、「男らしさ」「女らしさ」って何だろう、性に関する悩みや不安、戸惑いを抱えている人は、少なくないと思います。SOGI の概念が示すように、セクシュアリティは全ての人に関わる事柄であり、しかもその在り方は多様で、境界線のはっきりしない、あいまいなものでもあります。また 10 代や 20 代のころは特に、セクシュアリティの在り方は揺らぎやすく、自分でもよく分からなかったり、迷いが出てきたり、といったことも珍しくありません。

SOGI といった概念が知られることで、より多くの人々がセクシュアリティの問題について関心を持ち、理解しようとするのができればいいなと思います。みなさんもぜひ「自分事」として、考えてみてください。

